

## 眼科学【Stage 1】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）
  - (1) 一般医としての眼科知識及び技術の習得。
  - (2) 視覚障害者に対する対応の仕方、心配りを学ぶ。
  - (3) 医学と医療の違いを理解する。
  - (4) 全身疾患と眼科疾患の関連を理解する。
  
2. 実習の方法（内容・行動指針）
  - (1) 眼科基本検査手技の理解と習得（細隙灯顕微鏡検査、眼底検査、光干渉断層計）。
  - (2) 外来新患の問診。
  - (3) 手術見学と助手。
  - (4) 入院患者の受け持ちとレポート。
  - (5) ミニレクチャー。
  - (6) 豚眼を使った白内障手術実習。
  
3. 実習上の注意事項
  - (1) 清潔な身なり。
  - (2) 丁寧な言葉遣いと謙虚な態度、周囲への気配り。
  - (3) 局所麻酔が多いので、手術場では静かにし、清潔、不潔に注意。
  - (4) **コンタクトレンズ装用者は保存ケースを準備すること。**
  
4. 「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示
  - 1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき  
外来新患の問診、視力検査、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査、  
眼圧測定、超音波検査、眼底写真撮影、光干渉断層計撮影
  
  - 2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される  
網膜光凝固、各種手術、観血的外来処置（麦粒腫切開など）

【スケジュール】（第1週目）

曜日	担当教員	午前	午後
月	木許 横山 中野 八塚 糸谷 大塚真 大塚貴 佐藤 船津	オリエンテーション	検査実習・病棟回診、 患者担当
火		レクチャー・ 手術見学	豚眼手術実習
水		外来実習	レクチャー 手術カンファレンス
木		手術見学	レクチャー・病棟
金		外来実習	レクチャー・病棟

（第2週目）

曜日	担当教員	午前	午後
月	木許 横山 中野 八塚 糸谷 大塚真 大塚貴 佐藤 船津	外来・視覚障害実習	病棟回診
火		手術見学	レクチャー・病棟
水		外来実習	手術カンファレンス 卒試・国試対策
木		手術見学	レクチャー・病棟
金		自習	レポート発表

- ※ 集合時間・・・9：00  
 集合場所・・・病院2階眼科カンファレンス・ルーム  
 連絡伝達はPHSを使用